市立伊丹病院
臨床研修プログラム

ITAMI CITY HOSPITAL
市立伊丹病院

地域医療支援病院 ・ 臨床研修病院（基幹型）
国指定 地域がん診療連携拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院

どんな病院？

■理念と基本方針

安全で良質な信頼される医療を提供することにより、
地域医療の発展に貢献します

◆基本方針
- 人権に配慮した安全な医療を提供します
- 科学的根拠に基づいた信頼される医療を提供します
- 地域の健康を総合的に守ります
- 安心を提供できる環境を整備します
- 効率的な運営により、健全な経営基盤の確立に努めます

◆患者の権利
- 安全で良質な医療を求めることができます
- 十分な説明と情報提供をうけることができます
- セカンドオピニオンを求めることができます
- 自由な意思により適切な医療を選択することができます
- 個人情報は適切に保護されます

◆患者の責務
- 心身の健康状態について正確にお話ください
- 医療に関する説明が十分に理解できるまで質問してください
- 治療方針をご理解のうえ指示や助言はお守りください
- 本院の規則を遵守し、他の患者様や職員に対する迷惑行為は禁止します
- 診療に関わる費用を遅滞なくお支払いください

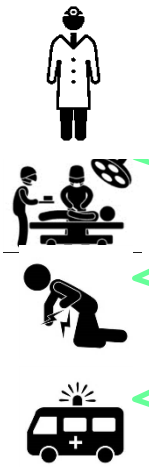
■人材育成理念

“想い”に寄り添い　“想い”を伝える医療を目指して
One more step
～「一歩前」に進めるために　自ら考え行動出来る人材～

■施設概要

■所在地　〒664-8540
兵庫県伊丹市昆陽池１丁目１００番地
電話　072(777)3773　代表
FAX　072(781)9888　代表

■病床数
（内訳）
414床
ICU･CCU（５床）、NICU（１０床）、無菌治療室（２床）、外来化学療法室(１４床)、人工透析（１０床）



医師数　**168**人

手術件数　**4,095**件/年

救急外来患者数　**20.1**人/日

救急車搬送患者数　**9.4**人/日

充実の診療科！
指導医講習会修了者は
45名です

診療科＆医師数

2023.4現在

		R5.4.1				
		正規	研修医 専攻医	非常勤	外来 応援	計
内科	消化器内科	8	5.0	1.0	0.6	14.6
	呼吸器内科	5	4.0	0.0	0.0	9.0
	循環器内科	6	2.0	0.0	0.6	8.6
	血液内科	3	3.0	0.9	0.6	7.5
	糖尿病内科	4	3.0	0.8	0.0	7.8
	老年内科	3	0.5	0.5	0.0	4.0
	ｱﾚﾙｷﾞｰ疾患ﾘｳﾏﾁ科	3	2.0	0.8	0.6	6.4
	(人間ﾄﾞｯｸ)	1	0.0	0.1	0.1	1.2
	(神経内科)	0	0.0	0.6	0.1	0.7
	小　計	33	19.5	4.7	2.6	59.8
精神科/心療内科		1	0.0	0.0	0.1	1.1
小児科		7	0.0	3.0	0.1	10.1
消化器外科・外科		7	0.0	0.0	0.0	7.0
呼吸器外科		2	0.0	0.0	0.0	2.0
心臓血管外科		0	0.0	0.0	0.1	0.1
乳腺外科		2	2.0	1.0	0.1	5.1
整形外科		9	4.0	0.0	0.0	13.0
脳神経外科		1	0.0	0.0	0.0	1.0
小児外科		0	0.0	0.0	0.1	0.1
皮膚科		2	1.0	0.0	0.0	3.0
形成外科		1	0.0	0.9	0.0	1.9
泌尿器科		3	2.0	0.0	0.0	5.0
産婦人科		7	1.0	0.4	0.0	8.4
眼科		2	0.0	1.0	0.6	3.6
耳鼻咽喉科		0	0.0	0.0	0.5	0.5
放射線診断科		4	0.0	0.0	0.2	4.2
放射線治療科		2	0.0	0.0	0.0	2.0
歯科口腔外科		3	0.0	0.0	0.0	3.0
麻酔科		6	0.0	1.6	1.6	9.2
病理診断科		2	0.0	0.0	0.3	2.3
救急科		1	0.0	0.0	0.0	1.0
内視鏡C		0	0.0	0.8	0.0	0.8
遺伝子診療C		0	0.0	0.8	0.0	0.8
事業管理者		1		–	0.0	1.0
合計（臨床研修医を除く）		96	30	14.2	6.3	146.0
前期研修医(歯科含む)		–	22	–	–	20.0
合計（臨床研修医を含む）		96	52	14.2	6.3	168.0

■施設も人材もますます充実！最近のTopics

平成22年9月3日	**兵庫県指定がん診療連携拠点病院**の指定を受けました！！
平成23年4月1日	**老年内科**を新規で標榜！
平成23年11月9日	**地域医療支援病院**の承認を受けました！
平成24年4月1日	**アレルギー疾患リウマチ科**を新規で標榜！
平成24年8月1日	**新医局棟**オープン！
平成25年1月7日	**内視鏡センター**オープン！
平成25年1月18日	**日本医療機能評価機構の認定**を受けました！
平成25年4月1日	**人工関節センター**オープン！
平成25年7月4日	**形成外科**を新規で標榜！
平成26年4月1日	**OP室２室**を増設！合計７室に！ **糖尿病センター**オープン！
平成26年11月13日	全国公立病院連盟総会 平成26年度**全国公立病院優良病院**表彰！！
平成27年4月1日	**市立伊丹病院・宝塚市立病院における産婦人科連携スタート！** **乳腺外科**を新規で標榜！
平成29年4月1日	放射線科を**放射線診断科**と**放射線治療科**に再編成 **呼吸器アレルギー診療センター**オープン！
平成30年4月1日	**糖尿病・内分泌・代謝内科**の標榜科新設 **リハビリテーション科**の標榜科新設
平成31年4月1日	**地域がん診療連携拠点病院**の指定を受けました！
令和2年10月1日	**兵庫県認知症疾患医療センター**に指定されました！
令和3年4月23日	**手術支援ロボット「ダヴィンチ」**を導入しました！
令和4年4月1日	**遺伝子診療センター、臨床心理センター**オープン！
令和4年6月30日	**脳神経内科、救急科**の標榜科新設

■ACCESS

市立伊丹病院の臨床研修

■特徴

- 各科の枠を超えた緊密な連携のもとに幅広い臨床医学の研修ができる。
- 基本的な診断・治療への柔軟で偏りのない思考過程を習得できる。
- プライマリ・ケアの基本的な臨床能力（態度・知識・技術）を身につけることができる。
- 専門的医療も指導者の緊密な指導のもとで研修できる。
- 上級医の指導を受け、学会発表ができる。
- 適度な規模の病院で、急性期医療と高度医療の臨床経験を積むことができる。
- 選択期間が長く、個々の研修医の希望に応じたコース設計ができる。

■研修目標

- 当院の研修では、生涯にわたり自己研鑽し良質な医療を提供する医師としての素養を身につけ、人権に配慮し患者中心のチーム医療を実践し、説明責任を果たせる医師の育成を目標としています。

■定員

- 10名

■プログラム

- 【必修診療科】

１年次必修　　：内科（消化器内科、呼吸器内科、循環器内科）（21週以上）、
外科（7週以上）、小児科（7週以上）、産婦人科（7週以上）

１・２年次の必修　：救急研修（12週以上：麻酔科4週以上を含む）
一般外来研修　（4週以上：内科、小児科、外科で実施）

２年次必修　　：内科系9週
地域医療（4週：市内の診療所・私立病院で研修）
精神科（4週：伊丹天神川病院・仁明会病院・大阪精神医療センター）

- 【選択科目】

研修を深めたい診療科を選択し委員会に届出て研修する。（複数選択推奨）
選択にあたっては、研修の到達目標の症例等が達成できるよう調整する。

- 選択可能な診療科

内科系各科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、眼科、放射線科、麻酔科、病理診断科
※選択可能期間・・・皮膚科・眼科は最大３ヶ月、他の診療科は制限なし

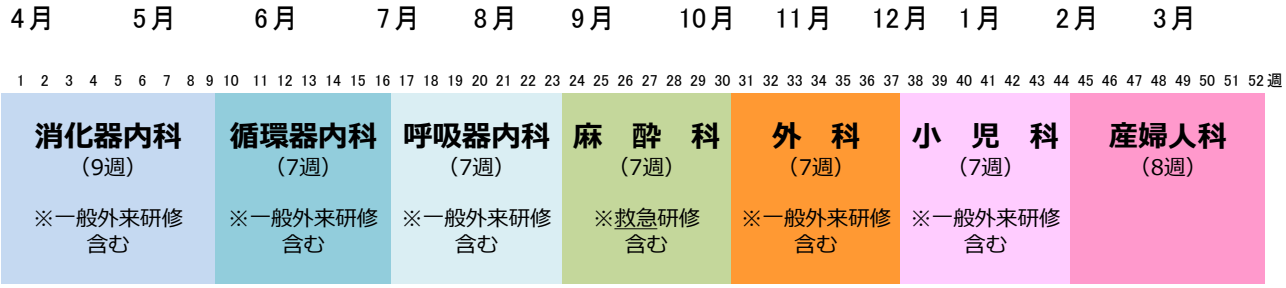
■ １年目のローテート　（案）

【必修科】

- 内科系必修科　21週：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科
  ※当直明けは職免となり勤務無し。一般外来（4週以上）の要件を満たすため内科は2年目にもローテートして頂く予定です。
- 麻酔科・外科・小児科・産婦人科は各7週が基本ですが、週数調整の8週となる科があります。
- 一般外来：内科系・外科・小児科ローテート時に研修を行います。（半日/週×44週＝4週以上経験）
- 救急外来：時間内救急　2週間に1回　&　時間外（日直or当直）　4～5回/月
  ※当直は５月から始まります。当直の日程は、研修医同士で相談して決めます。

≪ローテートモデル≫

ローテートする順番は４月のオリエンテーションで、誰がどの順でローテートするかを相談します。



■2年目のローテート　（案）

【必修科】

- 内科系9週　・地域医療4週　・　精神科4週

※一般外来（4週以上）の要件を満たすため内科は2年目にもローテートして頂く予定です。アレルギー疾患リウマチ科、糖尿病・内分泌・代謝内科なども選択出来ます。

志望は内科系ですが専門を決めかねていたので、臨床研修中にいろんな科を経験して、進路を決めました。

将来、消化器外科を考えているので、2年目にも消化器内科を選択！他の外科系も幅広く経験しました。

- １年目は環境に慣れるので必死。約２ヵ月ずつのローテートなので、落ち着いて研修できました。
- 臨床研修は、様々な診療科をローテートすることが出来る唯一の期間。この間に、視野を広げようといろんな診療科をローテートしました。
- ２年目の選択科は、前半・後半に分けて決められるので、進路決定に沿って調整することが出来ました。

■先輩研修医からのおススメPoint

- 救急搬送も非常に多く、１次２次とも救急症例が豊富！
  内科救急は、１年目は上級医と同時コール、２年目はファーストコール
- 熱心な指導医のもと手技の習熟を図れる。
  例）ＣＶＣは上級医の指導の下、年間３０件以上経験
- 各科の垣根が低く、困った時に誰にでもコンサルトできる。
- 外科では短い期間に急性腹症から悪性腫瘍まで幅広く経験できた。マンツーマン指導により短期間で基本手技が習得でき、今後の診療に役に立つ。
- 救急カンファレンスでは、研修医が多くの症例を発表し、プレゼンテーション能力を磨ける。上級医の先生からの助言により、自分のいたらなかった点を反省することも多い。
- 地域医療研修は、市内診療所で研修。往診等、普段見えない患者さんの日常生活を見ることができ、よい経験となった。
- 早朝勉強会が充実していて、診療の基礎となる鑑別診断の挙げ方や、トリアージの仕方を学ぶことができる。
- 選択期間が長い＆選択できる診療科が多く、幅広い研修が出来る。且つ、どの診療科を回っても、熱心な先生が多い。
- 院内のローソンはめっちゃ便利！！

■臨床研修医　募集要項

身分	会計年度任用職員	
給与	１年次27万8700円　２年次28万5100円(賞与：1年次 1.83ヵ月、2年次 2.45ヵ月分)	
	当直料：研修副当直2万円	
	参考年収：1年次475万円　2年次507万円（当直月4回の場合）	
健康保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険あり、医師賠償責任保険は病院において加入	
募集形式	医師臨床研修マッチングに参加して募集する。	
募集書類	1.臨床研修申込書　兼　履歴書 （専用用紙をHPからダウンロードしてください。写真添付。本人自筆。印刷はA4サイズ） 2.卒業（見込み）証明書 3.大学成績証明書 4.臨床研修医申込に関する確認事項（WEB登録） 5.返信用封筒 （受験票送付先の住所を記入。８4円切手貼付。サイズは長形３号又は４号） 当院HPの受験申込専用フォームから、応募事前登録を行ってください。	
選考方法	集団面接	
募集期間 選考日	**募集期間**	**選考日**
	2024年7月1日(月)～7月31日(水)	①2024年8月17日（土）9：00～ ②2024年8月19日（月）13：30～ ③2024年8月26日（月）13：30～ ★時間は受験人数によって調整します。

■出身大学と進路

開始年	人数	出身大学	進路
H31年	**10**	阪大、神戸大、兵庫医科、関西医科、大阪医科、愛媛大、香川大、高知大、島根大、福岡大	**当院の糖尿病・内分泌・代謝内科** 兵庫県立尼崎総合医療センター、兵庫県立こころの医療センター、神戸大学医学部附属病院、大阪医科薬科大学病院、淀川キリスト教病院、奈良県立医科大学病院、高知大学医学部附属病院
R2	**11** 阪大たすきがけ含む	阪大、関西医科(2)、大阪医科、滋賀医科、和歌山県立医科、金沢医科、鳥取大、福井大、山口大、長崎大	**当院の血液内科、乳腺外科、整形外科（2）** 大阪大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、奈良県総合医療センター、鳥取大学医学部附属病院
R3	**11** 阪大たすきがけ含む	阪大、大阪医科薬科、大阪市立大、近大、滋賀医科、徳島大、日大、山梨大、福島県立医科、岩手医科、宮崎大	**当院の消化器内科、血液内科、整形外科（3）** 大阪大学医学部附属病院、加古川中央市民病院、ベルランド総合病院
R4	**12** 阪大たすきがけ含む	阪大、大阪医科薬科(3)、和歌山県立医科(2)、奈良県立医科、滋賀医科(2)、関西医科、浜松医科、岐阜大	**当院の消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、アレルギー疾患・リウマチ科、外科、乳腺外科、整形外科（2）** 慶應義塾大学病院、大阪大学医学部附属病院
R5	**12** 阪大たすきがけ含む	阪大(4)、神戸大、大阪医科薬科、和歌山県立医科、関西医科、岐阜大、岩手医科、筑波大、奈良県立医科	臨床研修後、約**半数近く**が専攻医として、引き続き勤務。
R6	**12** 阪大たすきがけ含む	阪大(4)、和歌山県立医科(2)、大阪医科、兵庫医科、関西医科、鳥取大、川崎医科、旭川医科	

■学会専門医制度施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本肝臓学会関連施設
日本呼吸器学会専門医制度認定施設
日本血液学会認定血液研修施設
日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本高血圧学会認定施設
日本老年医学会認定施設
日本アレルギー学会認定教育施設
日本リウマチ学会認定教育施設
日本循環器学会専門医制度研修施設
日本小児科学会専門医制度研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
日本胸部外科学会教育施設
日本乳癌学会専門医制度認定施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本脳神経外科学会研修施設
日本皮膚科学会専門医制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本口腔外科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定病院
日本医学放射線学会専門医修練協力機関
日本病理学会病理専門医制度登録施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本臨床腫瘍学会専門医制度研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本超音波医学会専門医研修施設
日本人間ドック学会専門医制度研修関連施設
母体保護法指定医師研修医療機関
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
兵庫さい帯血バンク採取医療機関
日本栄養療法NST稼動施設
日本静脈経腸栄養学会　ＮＳＴ稼動施設
日本乳房ｵﾝｺﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｻｰｼﾞｬﾘｰ学会　ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄ実施施設
日本乳房ｵﾝｺﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｻｰｼﾞｬﾘｰ学会　ｴｷｽﾊﾟﾝﾀﾞｰ実施施設

■専攻医　募集要項

目的	臨床医学・医療の広い知識・技能からさらに専門的な医療を習得し、優れた臨床医を目指すことを目的とする。
応募資格	医師免許を有し、医師臨床研修制度における２年間の臨床研修を修了もしくは修了見込みの者。（当院研修医、大学推薦医、公募）
身分・人数	専攻医（会計年度任用職員）、各科若干名
研修期間	研修期間は臨床研修終了後より３年間を限度とし、１年毎に更新する。 院外研修も可能。３年後正規職員への任用の可能性あり。
待遇	参考年収　卒後3年目：約900万円
	上記は、月2回の当直料を含む。（当直料、超過勤務手当は常勤医師と同じ）
健康保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険あり
募集期間	募集中　（面接日は適宜決定）

■モデル給与（専攻医１年目）

	月額	年間	備考
給与	430,200	5,162,400	
期末勤勉手当		1,053,990	採用月によって割落しがあります。
当直手当	103,600	1,243,200	当直月2回の場合
夜勤手当（当直時）	5,616	67,392	
救急当直加算	30,000	360,000	当直時に対応した患者数によって加算があります。
超過勤務手当	101,880	1,222,560	月30時間で試算
計	671,296	9,109,542	

当直を実施している診療科では、救急外来・病棟管理またはICU当直が、月2～４回程度あります。
当直明けは、原則休みです。

■学会活動支援

各種学会活動を支援するため、旅費と参加費の補助を行っています。

■他院ローテート中の処遇について

新専門医プログラムは、３年間で複数の病院をローテートする場合があります。給与等の処遇は、ローテート中の病院の処遇が適用されます。

病院見学に行こう！

この雰囲気は体験しないと分からない！ぜひ、見学にお越しください！！

■申込方法

WEB申請はこちらから！

1　WEBから申込
2　指導医と日程を調整してお返事します。
3　当日は、２階総務課へお越しください。
　【持ち物】白衣＆大学の名札

■見学スケジュール（案）

９：３０　　来院・更衣・プログラム説明
１０：００　AM診療科見学
１２：００　ランチ
１３：００　PM診療科見学
１６：００　１日お疲れさまでした！

■診療科別おススメ曜日

診療科は、午前・午後に分けて２診療科を見学できます。

- 消化器内科　内視鏡検査の見学は月・木曜日がオススメ！
- 循環器内科　循環器の花形心カテの見学なら水曜日がオススメ！
- 呼吸器内科　火曜日はAM気管支鏡検査、PM回診がありイチオシ
- 血液内科　いつでも歓迎です！
- 糖尿病内科　月・金曜日
- 小児科　木曜日以外、いつでも歓迎です！
- 外科　月・火・木曜日　OPの見学が出来ます！
- 麻酔科　いつでも歓迎です！
- 整形外科　水・金曜日　OPの見学が出来ます！
- 脳神経外科　水曜日がオススメです！
- 泌尿器科　木曜日　OPの見学が出来ます！
- 産婦人科　いつでも歓迎です！
- 放射線科　月曜日PMはIVRを、金曜日は放射線治療の見学ができる為オススメです！
- 救急（内科系）いつでも！

■早朝勉強会も見学できます！

朝８時から実施している早朝勉強会の見学も可能です。
見学申込時にご希望をお知らせください。
火曜日　臨床研修医１年目勉強会
金曜日　全診療科合同救急カンファ
（2週目のみキャンサーボード）

１年目研修医オリエンテーション　BLS研修

１年目研修医の勉強会

手術の見学もできます♪

研修医の日常

先輩研修医の日常のひとコマ。実際、どうなのかは見学で！

研修医の朝は、８時スタートの勉強会から始まります。正直、最初はしんどかったですが、だんだん習慣になってきます。

月曜日　細井Dr＆木下Dr塾
　問診の仕方等、すぐに使える知識を学びます。
火曜日　全科持回り勉強会
　様々な科の先生方が、「このタイミングで、必要なコト」を幅広くレクチャー
水曜日　内科系勉強会
木曜日　各診療科カンファ
金曜日　救急カンファ・キャンサーボード

お昼になると、研修医室に皆が戻ってきます。
ごはんを食べながら、わいわい雑談。
研修医室は、１人ずつ机があり、先輩達がプレゼントして下さったバリスタもあったり、快適！
なんといっても、研修医だけの部屋なので、内緒話をし放題(笑)

机が散らかって見えるのは気のせいです。
いつもはもっとキレイ！（たぶん。。。）

当直は、上の先生方の当直が決まった後に、どこに入りたいか、希望を書きこみます。
基本は、内科救急当直に入りますが、それにプラスしローテートしている診療科の当直に入る人が多いです。
救急はドキドキの連続ですが、着実に実力がつくのを実感できます！

先輩研修医＆指導医インタビュー

■消化器内科　科部長　堀木先生

市立伊丹病院の特徴は？

市立伊丹病院は伊丹市において最も大規模な急性期病院であり、地域中核病院として初期診療から高度専門医療まで幅広いニーズに応えているという特徴があります。病床数に比べて専門科が多く、内科も呼吸器・循環器・消化器・血液・糖尿・老年・アレルギーにそれぞれ専門医が配属されており、専門的な治療が行われています。しかし何と言っても他には無いこの病院の特徴は各科の間の壁が低くアットホームな医局にあると言えます。毎週金曜日に全科合同の救急症例カンファを行い、救急症例でひやりとした症例や、示唆に富む症例、診断や治療に難渋している症例を発表し、得られた教訓を全科で共有しています。他科に気軽に相談できるのは勿論の事、他職種のスタッフとも気軽にコミュニケーションをとることができます。

消化器内科での研修について教えてください！

消化器内科では、外来での初期診療・初期治療、入院での初期治療から専門治療に至るまで上級医との完全ペア体制で診療にあたります。机の上での勉強よりも実際の経験を通して学ぶ方が記憶に残り、実力になるというのが当院の教育方針であり、出来る限り検査や処置にも参加し、その手技を習得できる体制を組んでいます。もちろんそのような研修ができるのはナースを代表とするコメディカルが医師研修に協力的で研修医のみなさんが研修に専念できるからであり、これも当院の大きな特徴と言えます。

研修医にメッセージを！

自分で考えて動ける医師を目指します。医師人生の
中で最も大切な最初の“一歩”をぜひ伊丹病院で！

プロフィール

山梨大学卒業後、大阪大学・市立豊中病院を経て、2006年4月より、市立伊丹病院へ着任。日本緩和医療学会暫定指導医でもあり、企画責任者として厚生労働省の開催指針に基づく「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を主催する他、講師として院内外で活躍中。

■アレルギー疾患リウマチ科　副医長　兵頭先生

後期研修に市立伊丹病院を選んだ理由は？

子供がいるため、病院選びの条件はまず「子育てと仕事の両立ができる病院」でした。

当院を選んだ理由としては、子育てをしながら仕事をすることに関して、部長をはじめ、同僚の理解を得られる環境であったことが大きいです。また当直明けは帰宅できますし、休日の病棟業務は基本的には当直医が行うため、休日がしっかりとれるという職場の制度も魅力的でした。研修については、主治医として色々な症例を任されるため豊富な臨床経験を積むことができ、当院を選んでよかったと感じています。

仕事と子育てとの両立のコツは？

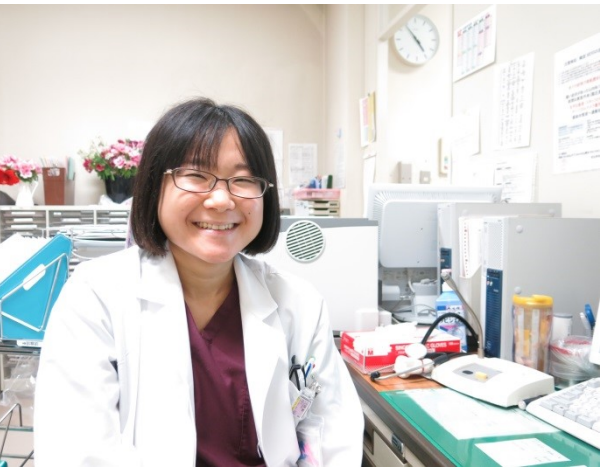
両親や夫など身近な人の理解と協力にとても助けられています。

また職場の上司や同僚の理解があることも大きいと感じています。

周囲の方々に感謝する日々です。

プライベートで、今やってみたいことは？

いい季候なので、車で遠くまでドライブに行きたいですね。



後輩の研修医にメッセージを！

当院は二次救急病院なので、内科としてcommonな疾患を多数経験することができます。

アレルギー科やリウマチ科としては、成人のアナフィラキシー、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、血管炎などを始め数多くの疾患を経験することができます。

平日は忙しく働き、休日は休息をしっかりとる。オンオフのはっきりした充実した生活を送れる職場です。

是非、一緒に働きましょう。

プロフィール

香川大学卒業後、大阪医科大学附属病院にて臨床研修を修了。

2015年10月より、市立伊丹病院アレルギー疾患リウマチ科専攻医を経て現職。

■呼吸器内科　科部長　木下先生

市立伊丹病院の内科の魅力は？

主要な専門内科が揃っていて、中堅クラスの指導医が充実しています。地域の患者さんたちとの距離感も極めて近く、生活密着型の診療が展開できます。日々、診療の中で新しい発見があり、それを多様な患者さんたちが導いてくださいます。

どんなことにやりがいを感じていますか？

患者さんが良くなって喜んでいただけることはもちろんですが、この病院での私達との出会いを良き思い出として、その後の健康維持につなげて下さったら最高です。

研修医への勉強会をたくさんされておられますが、どんな内容をされていますか？

実際にあった症例をもとにした「臨床推論」が中心です。随時必要な医学知識もおりまぜますが、医学的なものの見方・考え方のトレーニングが中心です。

指導で心がけていることは？

相手の心をつかむために、何か印象的な言葉とか手技を見せたり、聞かせたりして、とにかくもともと持っているはずの医学への関心を開花させたいなぁ、と思っています。

研修医にメッセージを！

よい教育とは、全てを教えることではなく、学ぶためのヒントを与えながら、向学心を育て上げることかなと思っています。学びの宝庫である当院にぜひ来てください。

プロフィール

岡山大学卒業後、大阪府の民間病院に勤務。市立堺病院（現・堺市立総合医療センター）藤本卓司先生のもとで総合内科・感染症診療・感染管理を研修し、2008年4月より、市立伊丹病院へ着任。呼吸器内科部長兼感染対策室部長

■呼吸器内科　原先生

患者さんとの関係で大事にしていることはどんなことですか？

礼儀は忘れず、でも笑顔で楽しく話せるように、患者さんに近い存在になれるような接し方を心がけています。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

病気を診ることも大切ですが、人自身を診れるように指導しています。

数多くの臨床研究もされていますが、どんな思いから研究に取り組んでおられるのでしょうか？

市中病院である伊丹病院ですが、臨床研究に関してはその他の大学病院やがんセンターと対等な立場で進めています。最先端の医療を目の前の患者さんに実践できるように、また臨床的疑問を研究へとつなげられる研究マインドも当院で研鑽できるようにしたいです。

これからの目標を教えてください！

どんな腫瘍でも柔軟に対応して治療ができる技術を極めたいです。臨床研究を進め、より多くの発表を海外学会で行います！

研修医にメッセージを！

がん治療は様々な科の先生の協力の元に成り立ちます。
他科との垣根がほとんどない伊丹病院は、本当に仕事がしやすいです。
一緒に頑張りましょう！

プロフィール

大阪医科大学卒業。2009年7月より市立伊丹病院へ着任。
陸上競技部で長距離を極め、フルマラソンベストはサブスリー！

■脳神経外科　主任部長　二宮先生

市立伊丹病院の脳神経外科の特徴は？

一般的な脳神経外科手術を行い、高度な治療は大阪大学及び関連施設と連携を図っています。兵庫県下唯一のてんかんセンターとして、”てんかん”の内科治療～外科治療を担っています。

体が空いていれば、救急の依頼をいつでも受けます。

二宮先生にとって、脳神経外科の魅力は？

神経疾患は、画像診断、脳機能、生理学、解剖の理解が必要です。外科的アプローチはその理解を早める近道です。研究として研鑽するのも、救急を扱いドラマチックな展開を経験するのも、いずれでも可能な診療科です。静と動、いずれも満足できるのが魅力だと思います。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

指導医が時間を守る。お昼休みを取る。17時で終わる。神経疾患に興味を持ってもらう。

これからの目標を教えてください！

いつでも信頼されること。

専門医研修について、教えてください！

大阪大学脳神経外科専門医養成プログラムに入ってもらい、当院を含めた関連施設と大学研修を経て専門医試験を受験してもらいます。

研修医にメッセージを！

当院では、独りになることはありません。どんな時でも、サポートが入ります。わからないことがあれば、困っている顔をするとお節介が入ります。これが当院で学べる最も良い点です.

プロフィール

大阪大学卒業後、市立堺病院等での勤務を経て、2013年4月より、市立伊丹病院へ着任。それまで休止していた脳神経外科の再開に注力。

■呼吸器外科　主任部長　奥村先生

市立伊丹病院の魅力は？

各診療科の垣根が低く相談がしやすい環境、医局（病院）全体で研修医を育てる雰囲気、病院全体に知らないことを学ぼうとする姿勢があることにつきます。

呼吸器内科の先生方をはじめとする病院スタッフの研修医への学習（教えてあげたい）意欲の高さや、早朝に行われる救急カンファレンスやcancer board、夕方のCPC症例会への医師の高い参加率や、看護師、放射線技師さん達の多くの参加は他の施設とは一線を画すと思います。

臨床研修医への指導で心がけていることは？

医師として、特に外科系医師として獲得すべき診療技術を、エビデンスに基づいた診療内容とともに伝えるのはもちろん、患者さんに寄り添う心をもった医療人を育てたいと思っています。

これからの目標を教えてください！

四十にして惑わず、五十にして天命を知る。
自分の持つ技術、知識を若い人に出来る限り伝えていきたいし、また彼らからも学びたいと思っています。

研修医にメッセージを！

知りたいことは迷わず、上級医や指導医に聞きましょう。
どしどし質問して、ともに知識を獲得していきましょう。
患者さんや患者さんの家族に寄り添える心を持ちましょう。

プロフィール

兵庫医科大学卒業後、同大学胸部外科へ入局。
大学病院などで心臓血管外科／呼吸器外科の修練を積む。
2010年4月より市立伊丹病院へ着任、呼吸器外科を立ち上げた。

■小児科　主任部長　三木先生

市立伊丹病院　小児科の特徴を教えてください！

将来どの科に進むにせよ、発達過程にある小児の特性を理解し、小児診療に必要な知識・技術を習得することはきわめて大切なことであります。

当院小児科は地域の中核病院として、感染症をはじめとするcommon diseaseからsubspecialtyを必要とする疾患まで幅広く診療しています。

平成20年4月からは、近隣に阪神北こども急病センターが発足し、夜間・休日の一次救急患者の診療を開始いたしました。当院は二次搬送病院として中心的な役割を果たし、急病センターと緊密な連携を取り合って小児救急患者の対応に当たっています。

小児科学会がキャンペーンしておりますように、当院小児科も出生から大人になるまで子どもたちの健康を守り、地域社会を通じて成育医療を実践しています。

小児科の研修は、主任部長をはじめ小児科専門医資格を持ったスタッフが、マンツーマンで指導いたします。来たれ研修医諸君、市立伊丹病院へ！

専門医研修について教えてください！

当院は小児科学会認定専門医制度研修施設になっており、将来小児科専門医を目指す専攻医(後期研修医)も毎年募集しています。初期臨床研修が済んだ後の3年間を大阪大学小児科と連携したプログラムを作っております。現在他院で研修されている初期研修医の先生方からの応募をお待ちしています。当院小児科は若い先生達の力を必要としています！

プロフィール

2000年4月に市立伊丹病院に着任。2016年より診療部長、2021年より副院長に昇任。定年退職後は科主任部長として活躍。

■呼吸器内科　主任部長　細井先生

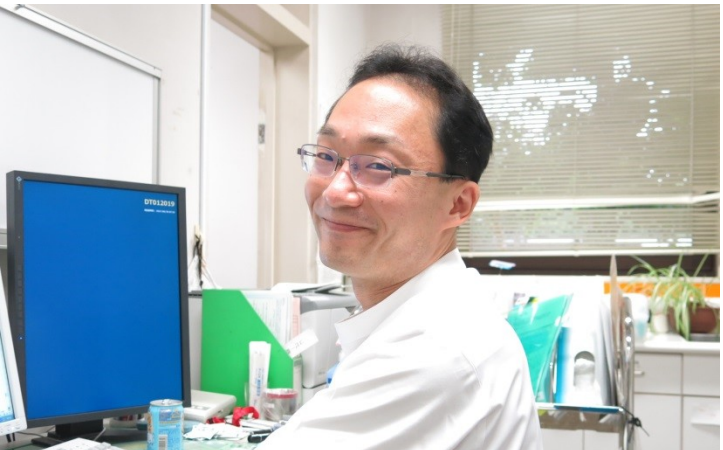
市立伊丹病院　呼吸器内科の特徴を教えてください！

当院の呼吸器内科は伊丹市の中核病院であり、呼吸器感染症・喘息・COPD・間質性肺炎・呼吸不全などの患者が多く搬送されてきます。肺癌の治療にも力を入れており、呼吸器疾患全般の研修が可能です。
呼吸不全症例は積極的に非挿管下人工呼吸の導入を行っています。多職種で構成している呼吸療法チームでの回診も行っており、いろんな角度から診ることができます。

指導体制を教えてください！

当科のモットーは「総合内科的な視点でベットサイドでの問診・診察を大切にする」ことです。基本的な問診・診察やグラム染色などを大切にし、回診やカンファレンスを通じて教育にも力を注いでいます。いつでも指導医に相談できる体制です。勉強会もほぼ毎日行われており、耳学問で大量の知識を得ることができます。このように、座学で知識をインプットし、救急外来や病棟で実際に患者を診ることでアウトプットし、それを指導医からフィードバックされる体制が整っています。日本内科学会、日本呼吸器学会、日本臨床腫瘍学会の認定施設なので、内科認定医・専門医、呼吸器専門医などの資格も得ることが可能です。

意欲のある若手の医師を求めています。少しでも興味をもたれたら連絡ください。お待ちしています！



プロフィール
2003年6月に市立伊丹病院に着任し、関副院長と二人三脚で呼吸器内科の立ち上げに尽力。
緩和ケア研修会講師、ICLSやJMECC（内科救急・ICLS講習会）の認定インストラクターとしても活躍中。

病院見学でお会いしましょう！